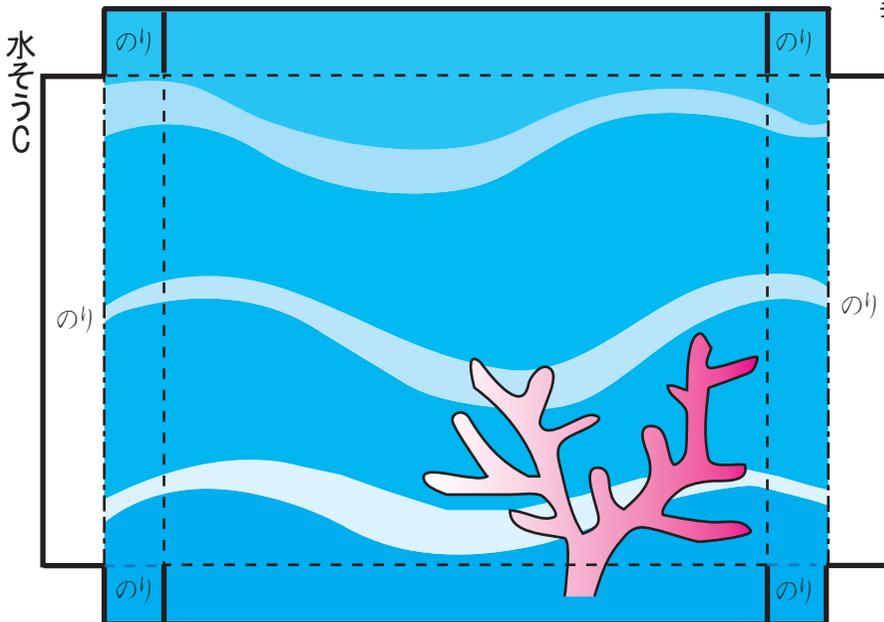


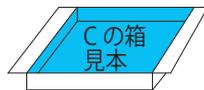
美ら海水族館をつくろう

谷おり 山おり 切る線 太線



D 水族館を立てるときにつかう。

Cの箱をつくる

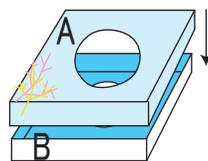


このDを3つにおり△を作り水族館のうらにはって立てる。

--- 谷おり
- - - 山おり
—— 切る線
太線

図3

AをBにかぶせて箱をつくる

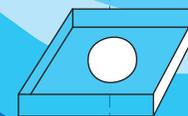


水そうB



この用紙をアの線で半分に山おりし、ハサミで半円を切りとり元通り広げる。

図2 このBの箱の見本

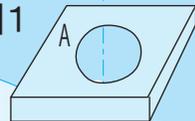


この用紙をアの線で半分に山おりし、ハサミで半円を切りとり元通り広げる。

このAは、図3のようにBに上からかぶせるふたになる。

このAの箱の見本

図1



つくり方 ①水そうABCを切りとり、短い太黒線のところに切れ込みを入れる。②ABC3つの水そうを谷おり山おりしておく。③水そうAとBの四すみの「のり」部分にのりをつけ、図1、図2のようにかたちをつくる。④Cを見本のようにつくり、両はし上向き部分にのりをつけBのうらの真ん中につける。⑤魚をおおまかに切り取る。⑥水そうにおく魚などを配置する。一番深い水そうCにジンベイザメなどを配置し、次に水そうBに、次に水そうAに配置する。3つの水そうのバランスをみて、配置がよければのりではっていく。⑦最後に図3のように水そうAとBをくっつけて完成。Dの△をつけたと立てられる。

